

人材育成	集落コミュ	特產品の活用	都市農村交流	定住促進	バイオマス	農商工連携	地産地消	企業参入
		○					○	

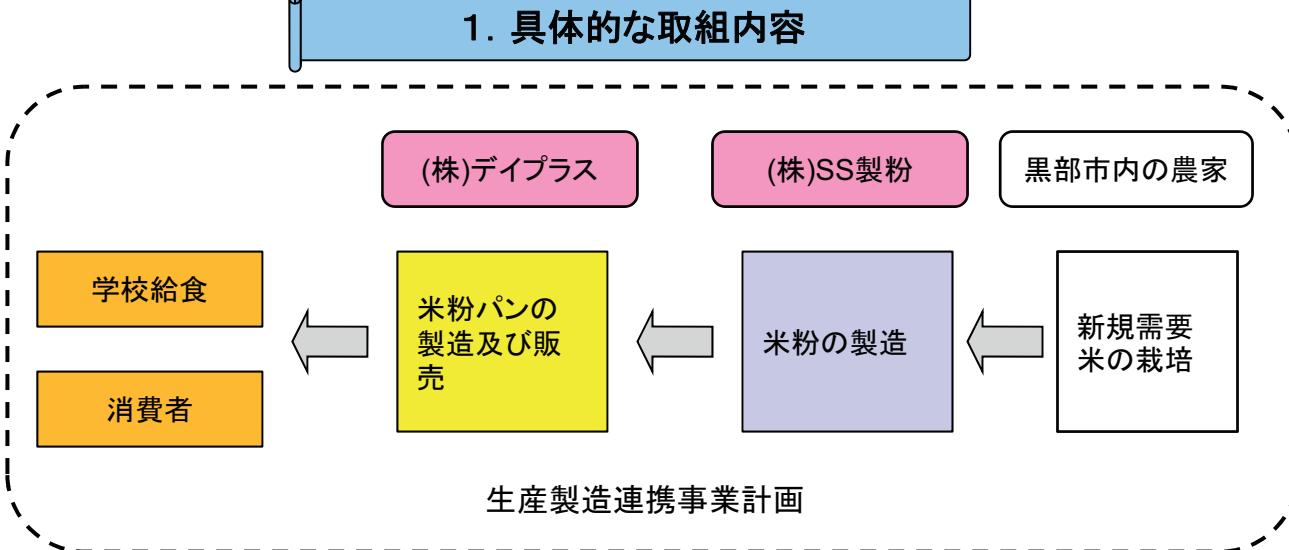
名称	新規需要米を利用した米粉製品の製造・販売
所在地	富山県黒部市石田1168-17
連絡先	株式会社SS製粉 TEL:0765-32-5820 黒部市役所農業水産課農産普及係 TEL:0765-54-2111

米粉の製造・販売による地域活性化

富山県東部に位置する黒部市は、県東部の最大河川である黒部川が市内を縦貫し、北アルプスに水源を有するこの清冽な水と扇状地の大地を背景に、古くから水田農業が盛んであり、県下有数の穀倉地帯となっています。

(株)SS製粉が農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用し、市内に米粉製造施設を整備することで、本地域における米粉用米の生産が新たに始められることとなりました。地元産の米粉用米を市内で製粉し、それらを関東の工場でパンに加工、全国販売することにより、米加工品の販売額増加を通じた農家所得の向上が期待されています。さらに、遊休農地の解消や、雇用数の増加による定住人口の確保を通じて、地域の活性化を図ることとしています。

1. 具体的な取組内容



2. 導入事業や活用した地域資源

導入事業	・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
活用している地域資源	・新規需要米

3. 取り組みの経緯

○活動のきっかけ

黒部市では、米の消費量の減少や米価低迷による農家所得の減少という状況に加え、農業従事者の高齢化や需給調整の強化等による遊休農地の増加等が問題となっていました。

これら問題に対する有効な対策はないか検討していたところ、(株)ディープラスが米粉パンの製造・販売に進出するため、新たに会社を設立して製粉施設等を整備することとなり、黒部市の基幹作物である米を用いて加工品を製造・販売するという新たな需要に向けた取組を始めることになりました。



<米粉製造施設(全景)>



<気流粉碎機>



<袋詰めされた米粉>



<米粉製造工場の全景>

4. 期待される地域経済への効果等

- これまで不作付地の状態であった水田で米粉用米を作付することによる遊休農地の解消
- これまでに無い新用途向けの新規需要米を生産することによる農家所得の向上
- 製粉工場が新たに稼働することによる地元での雇用の創出
- 市内事業者による米粉を用いた新商品の開発や地域特産品としての普及・定着

5. 取り組む上で苦労した点、よかつた点

- 大規模な製粉設備の導入により、事業費が大きくなる一方、製粉能力を向上させることで米粉用米取扱数量を増加することができた。
- 既存の通常パンの販路等を活用することにより、米粉の大幅な需要を見込むことができた。
- 従来、転作をするには条件的に難しかった農業者や地域に対し、新たな選択肢を示せた。